

岱志高校への高等部一般学級移転について

熊本県教育広報誌「ばとん・ぱす」(vol.61)でも紹介がありましたように、令和5年度(予定)に本校高等部一般学級は、熊本県立岱志高等学校内の校舎スペースに移転いたします。

熊本県教育委員会では、特別支援学校における児童生徒数の増加等に対応するため、平成23年5月に「県立特別支援学校整備計画」の策定を行いました。その計画に基づき、これまで4つの新設校の設置がなされるとともに、高等学校等のスペースを活用した特別支援学校の分教室の設置がなされました。現在は、本校を含めた4つの特別支援学校の高等部を、高等学校等のスペースを活用して移転する準備が進められています。

「高校と特別支援学校が一緒になるの?」というお尋ねもあるようですが、あくまで高等学校のスペースを活用して特別支援学校を設置するもので、同一敷地に異なる校種の学校が2校あるイメージです。それぞれの教育はこれまでと同様、別に行います。

本校では20年以上も前から、「ボランティア共生大学」や「ハートフルシンポジウム」といった活動を通して、「すべての人が住みやすいハートフルな共生社会の実現」を目指し、学校と福祉、医療、労働、行政といった関係機関の連携を深める取組を行ってきました。これらの「開かれた学校づくり」によって、本校の子どもたちを理解・応援して下さるたくさんの地域の方々に出会い、そして現在も温かく支えていただいています。このことは本校にとっての大きな財産の一つです。

今回の高等部移転に際し、この移転のテーマ(目標)を「『共生社会の実現』のモデルづくり」と掲げました。これまでの取組とどう異なるのか、これからの本校に求められる「共生社会の実現」とはどのようなものであるか、現在鋭意構想中ですが、次のようなことがヒントになると考えています。

それは、「これからの真の共生社会を実現するために、その主体である子どもたち自身に、どのような力を身に付けてほしいと願うのか」ということです。

例えば、先日開かれた高等部の現場実習報告会で、一人の生徒が実習の反省を述べていました。「実習先の方が親切に教えてくれてうれしかったけれど、その伝え方だと自分にはうまく伝わらなくて、よく分からなかった」とのこと。だから今後の目標を「自分の特性に合った提示方法を依頼できるようにする」と発表していました。その目標のすばらしさに心から感動を覚えるとともに、なるほど本校が目指すべきはこういうことなのだと気づかされました。

移転後は、岱志高校の生徒さん方や先生方と、また学校の近くにお住まいの方々と、そして地域の事業所や福祉施設等の方々と、これまで以上に様々な活動を通して直接的に触れ合いながら、学び合い、認め合い、高め合う活動を多く設けたいと考えています。それらの活動を重ね、互いの多様性やアイデンティティを確かめ合い、尊重し合うことが、「共生社会の実現」に結びついていくと考えます。その過程で、生徒自身が主体的に関わり、感じ、考え、自ら拓いていく力をつけていきたい、仲間と共生する豊かな社会を自ら創り上げていく力をつけていきたい、そのような夢を描いています。

これから令和4年度にかけて、しっかりと準備をしてまいります。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。